星の小ぼとけさま

川村たかし 作／丸木 俊 絵

必読選定 文研児童読書館（初級むき）

おばけばなし

まっくらないなか道や月夜の庭には、どんなおばけがあらわれるのだろう。ほかに、「幸平じいさんと馬車」など、五つの日本どうわ。

●千葉省三 作　●小松久子 絵

白鳥になったおもち

国のれきし、地名のいわれ、でんせつなど、ふしぎな話やこわい話など「風土記」をもとにしてつくられためずらしい八つのお話。

●福田清人 著　●赤羽末吉 絵

まほうをならいにいった少年

まじょと少女がまほうのうでくらべをする話、死神をやっつけるかじや、心のやさしいむすめの話など、ドイツにつたわるすばらしい六つの話。

●ベヒシュタイン 作●植田敏郎 訳●司修 絵

おやゆびひめ

花から生まれたおやゆびひめ。ちっちゃくってかわいくって、お日さまのすきなおやゆびひめにおこったかなしいできごととは……。

●アンデルセン 作●山室静 訳●松本文子 絵

かみのけぼうぼう

わたしたちのまわりにおこるいろいろなできごとをとりあげ、あたたかい人間のお話をあつめたもの。人の生きかたについてよくかんがえてみよう。

●石森延男 著　●清沢 治 絵

天にのぼった子ども

わるい役人のいいつけどおり、子どもは一本のなわにつかまって、ももをとりに天へのぼった。中国につたわるふしぎな七つのお話。

●関英雄 編著　●久米宏一 絵

空とぶ木馬

ふしぎな空とぶ木馬におひめさまがさらわれた。さて、いしゃにばけた王子さまは、ぶじにおひめさまをつれもどすことができるでしょうか。

●山主敏子 文　●石倉欣二 絵

くまのりょうし

ウズラが「スイイチキッテ、スパーットネロ！」となくと、ふしぎにねむくなるのです。犬やクマもでてくるソビエトのたのしい動物物語。

●チャルーシン 作・絵　●宮川やすえ 訳

星の小ぼとけさま《文研児童読書館》

著者 川村たかし　発行者 佐藤武雄

基本カード記載例

N.D.C.913　川村たかし著
星の小ぼとけさま
文研出版 1974　88p　23cm　文研児童読書館13

発行所 文研出版　東京都文京区向丘2－3－10　大阪市天王寺区大道4－128

印刷所 西口印刷株式会社 / 製本所 倉橋製本株式会社

©川村たかし　1974

・著者との契約により検印廃止　・定価はカバーに表示してあります

BS－741102

星の小ぼとけさま

川村たかし 作／丸木 俊 絵

贈寄
内山誠氏

文研出版

もくじ

1. 九人(にん)のほとけさま……6
2. ふしぎな夜(よる)……20
3. とうろう舟(ぶね)にのって……34
4. ネコおどり……45

5. 小さな大男……52
6. ふえのひびき……61
7. ふさがれた
ネズミあな……81

絵・丸木俊

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

川村たかし（かわむら・たかし）

ぼくは紀伊半島に住んでいます。紀伊半島のだいたいまんなかぐらいの、小さな町に住んでいます。まわりは山ばかりですが、ときには山のむこうの海のことを、ひとりでかんがえます。かんがえこんでむねのなかが、かっとあつくなるほどです。そんなときは、海の物語をかきます。

海はだいすきですが、生まれてからずうっと住んでいるこの小さな町も、ぼくは気にいっています。それで、小さな町の小さなほとけさまの話をかいてみました。

丸木　俊（まるき・とし）

遠い遠いむかし、サルのようなものから、人間というすばらしいものが生まれ育ってきたのです。

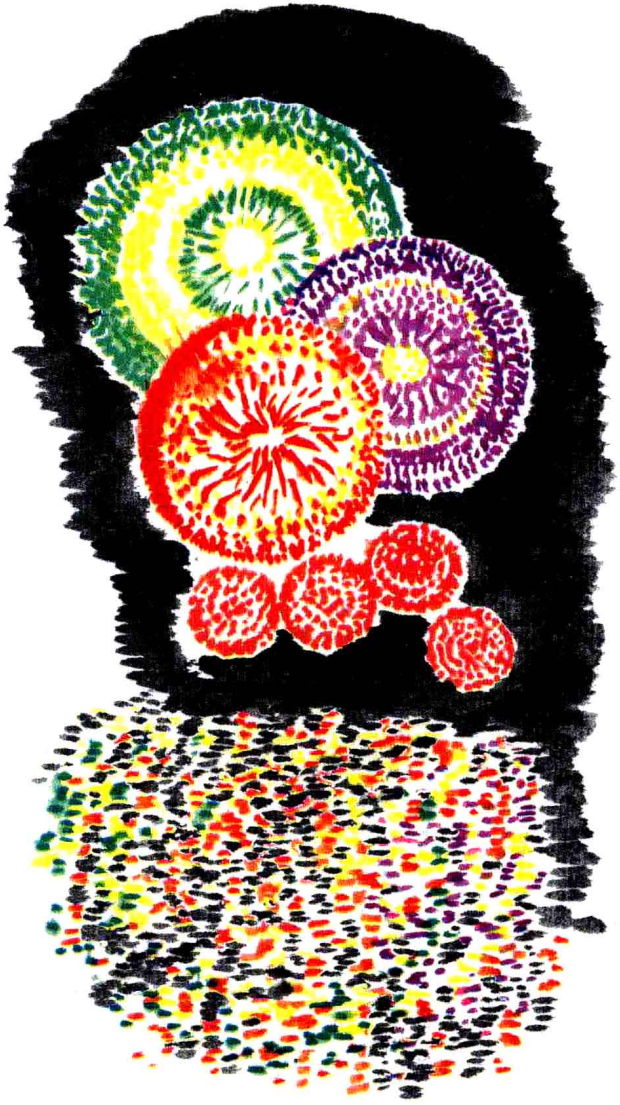
それなのに、空をよごし、川をよごし、野原をこわし、戦争をやり、海をよごしました。

お米に毒がはいり、魚も肉もだんだんだめになりそうです。

小ぼとけさまは悲しんで、ながい間、かくれていなさったのでしょう。でも今、おでましです。

わたしは、ながい間、原爆で死んだおおぜいの人びとのすがたを、心をかいている絵かきです。

星の小ぼとけさま



I. 九人(にん)の ほとけさま

もう、まよなかだった。

シャムネコのアレックスは、テレビの上(うえ)のベッドで、まるくなっていた。となりにねているおねえさんも、ふとんをけとばして、ムニャムニャいっている。

新吾(しんご)だけが、まだおきていた。うんとひるねをしたせいだ。お寺(てら)のはなれは、しずかだった。

夜は、いろいろの音がする。ほら、川の流れ、車の遠ざかるひびき。遠くではホトトギスが、キョキョキョキョキョとピアノをたたいていたし、べつのところではねぼけキジバトが、ゴゴッボウボウとのこぎりの音をたてていた。川のむこうだろうか。フクロウのホウホウぶえ。

新吾のおかあさんは、あしたやってくる。とうろう流しを見るために。それもある。が、つぎの夜は星祭りだ。いや、生まれた家にひさしぶりにかえってくるのだ。こいつが、いちばんのたのしみだろう。

三年生の新吾と、中学生のおねえさんのほうは、夏休みのしゅくだいをかかえて、「おじいちゃん、おせわになりまあす。」というわけだ。

一週間ほどまえにやってきて、「東京から、とうろう流しを見にきましたよう。」というわけだ。

思いだしているうちに、新吾はうとうとした。なにしろ、ねむり雲みたいなものが、のんのんとわいてくる。足から手からつつみにきた。すると、どこかでガチャンと音がした。ねむり雲はふきとんだ。

アレックスはむくりとおきた。なまけものにしては、めずらしい。ようすを見に、かけだしていく。

「だれだろう。ガラス戸にぶつかったのは。」

でも、また、のんのん雲が新吾をつつみこんだ。

やがて――。

どこかで、ふしぎな音がきこえた。なにかを話しかけるように。

テテンポンポン　テテンポン

新吾は、むくっとはねおきた。

「どろぼうかな。そんなの、やだよ。」

ぶるっとふるえたとき、いつのまにもどったのか、アレックスがベッドで「うーん。」とせのびをした。

「やれやれ、気づかれたわい。」

ほかにはだれもいそうにない。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

まちがいはなかった。アレックスのひとりごとだ。新吾は目をこする。おでこにつばをつける。ひねってみる。いたい。

「なにかいったろう、アレックス。」

「ええ、まあね。」

やっぱりそうだ。ネコは赤いしたをちろちろさせてこたえると、まぶしそうな顔をした。ひるま、まっかだったまるい目玉は、いまは金色。目のなかの火は、ふしぎな音にあわせるかのように、とろとろもえて、

「新吾ちゃん。あれはつづみの音さ。めったにきけないよ。」

テテンポンポン　テンテン

「ついておいでよ。いいもの見せたげる。」

アレックスは、長いしっぽをゆらりと立てた。

ろうかのあかりが、となりのへやを明るくしている。かたすみに、大きなながもちが見えた。ひるま、くらからはこびだした、ふるいはこだ。ぴたりとふたがしまっている。が、すみっこがネズミにかじられていた。

なかで、かすかに声がした。
「ぬすまれた。ほうら、どこにもない。」
べつの声がする。
「もう一どさがしてごらんよ。どこかにおきわすれたのかもしれん。」
「いいや、いや。わしはしっかりだきしめてねむったぞ。」
「ぬすまれたとすれば、あのネズミあなから——。」
ながもちのなかはしんとした。と、思うと、あなのなかから小さい顔が一つ、二つ、三つ、と外をのぞいた。三人とも、あかはだかの小人だ。長ズボンをはいている。手には刀をもっている。
三人はぴょんととびだして、きょときょとした。なにかをさがしている。そのうちに、二人がながもちを、ひょいともちあげた。三人めがのぞきこんだ。
「下にも、ない。」

「うん、やっぱりどこにもないね。」
と、もう一人がこたえた。
見ている新吾は、ぞくっとふるえた。おそろしく力もちだ。いったい、これはなにものだろう。ところが、アレックスはあわてない。しないしないとのりだすと、とんとんとながもちをノックした。

「小ぼとけさま、こんばんは。」
足もとの、はだかの小人はすっとんだ。せなかにせおった、まるい金のわのほのおが、めらめらともえた。
「気をつけなされい。外にはへんな目玉がいますぞ。」
「へんな目玉はないでしょう。七色目玉の、シャムネコアレックスさまですよう。安心していいですよ。」
銀色にかがやくおしゃれネコは、ひどいがらがら声だった。
「小ぼとけさま。まあおひさしぶり。」
ぬけぬけ、しゃあしゃあと白いひげのほこりをはらっている。ネズミあなからは、小人たちがぞろぞろとでてきた。せたけは十五センチぐらい。顔かたちが、みんなちがう。新吾はのりだした。小人のぼうしを、ちょいとかりてゆびにかぶせると、ぴったりだった。こいつはおもしろいことになった。金のわをせおい、おそろいの耳かざりをつけた小人たちをポケットにいれて学校へいけば、みんなは大さわぎにちがいない。

「七つ、八つ、九つ。ひゃあ、ちびが九人もいるよ。アレックス。」
「ちびだなんて、小ぼとけさまですよ。そうだ、ふしぎなつづみの音をいっしょにきいたんだもの、しょうかいしてやるか。」
ネコは、てくんとこしをおろして、うたうようにいった。
「えー、ここにいるのは新吾ちゃん。おしょうさんのまごですよ。三年生のいたずらぼうずですよう。ぼくのひげをちょんぎろうと、ねらっている子なの。」
アレックスは、つやつやしたわきばらのあたりを、ちょっとなめた。それから、新吾にささやいた。
「ほとけさまには、みんな星のなまえがついているんだって。でも、九人もいたんじゃ、おぼえきれないやね。」
シャムネコは、黒いしっぽをゆらりとふって、話しはじめた。
赤い顔の三人は、リキシというそうな。力もちのうえに、ぴかぴかの刀をもっている。

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com